

機能形態学Ⅰ	1	必修	前期	1.5	人体の各臓器や器官、組織の構造やその機能について理解することを目的とする。薬学部に於ける機能形態学は、医薬品の作用機序を理解するうえで基礎となる学問です。薬理学、病態・薬物治療学、薬物動態学などの土台となる学問です。					㊟									
漢方入門	1	必修	前期	1	現代医療において漢方薬の重要性は益々高まっており、漢方薬について十分な知識を備えることも薬剤師として必要である。本教科では、学生が現代医療における漢方薬の重要性を理解し、漢方薬の歴史や基本理論について学び、学生が今後さらに漢方を学ぶ上でいくための必要とされる知識を修得する。													㊟	
介護学概論	1	必修	前期	1	薬剤師は医療機関や薬局窓口あるいは在宅医療などで多くの患者に接遇しなければならぬ。これらの患者を介護する基本知識を学ぶことには、患者から信頼を得てコミュニケーションを容易にするために、看護・医療スタッフとの連携を深めるのに役立つ。本教科では、介護の目的や役割、介護を遂げる患者の身体的、精神的な現状について理解する。さらに、介護の業務過程や介護の現場について解説する。これらの基礎知識を、薬物治療の適正化を通して、患者の安全確保のQOL(生活の質)向上に貢献できるようにする。														㊟
運動生理学	1	必修	前期	1	運動生理学では、身体活動に関わる領域の解剖学、生理学の基礎的な理解と共に、人体活動時の機能的、機能的な変化について学ぶ。生命活動に関わる臓器と動物活動に関わる臓器の類似と役割を知り、その仕組みを習得する。近年、特に先進国では個人が運動習慣を持つことが健康維持の為に必要となっている。医療人として、人間の健康状態を深く理解し、患者に的確な指導・提案を行えるよう、基礎知識を習得し、各臓器の存在意義についても考慮できるようにする。さらに、本講義を通して生命とは何か、いのちの大切さを考える力を身に付ける。													㊟	

各授業科目の、各DP小項目への貢献度の総和を100としたとき

- ㊟ 強く関わる(40以上)
- 関わる(40未満)